

# お宝が 議会だより

第136号 令和7年11月15日

注目！

2310万円のトイシ爆誕！！

原案可決に議場騒然！？…10





観光ルートマップ「おぢかいどうが」



観光満足度アップで  
関係人口増を狙う！

# 私たちは町に 提案 します

## 北松西高校 3年生 地域探究発表会

日程：令和7年7月25日  
場所：小値賀町議会 議場



- 1 島内の主な観光地を結ぶわかりやすい動画を作成すること
- 2 検索できるWEBサイトを作成してその情報を幅広く発信すること
- 3 本町の総合計画に追加すること

### 【地域探究とは】

小中高一貫教育を実践する小値賀町では、児童生徒の「キャリアプランニング能力（※）」を向上させるために町議会と連携した活動を発達段階に応じて行っています。

北松西高校では「総合的な探究の時間」の中で3年間にわたり生徒たちが「地域探究活動」に励み、研究成果を町議会へ提言しています。

※キャリアプランニング能力  
「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方について主体的に判断してキャリアを形成していく能力。



地域探究アドバイザー中島 洋先生

根拠がしっかりしていて  
訴える力がある。  
計画に留まらず実行に  
移しており素晴らしい！

## 「おぢかいどうが」で 小値賀を活性化！

かつて1万人を超えていた小値賀町の人口は令和7年5月現在では2083人に減少しており、20年後には千人を下回るとの試算もあります。人口減少に伴って産業の担い手不足も問題となっており、本町の様々な課題を解決するには人口増加が必要であると感じています。

### 自分たちに何ができるか

自分たちに何ができるのかを考えるため、観光客を対象としたアンケートを行いました。

その中で、本町の観光に不便さを感じている観光客が56名中34名もいました。

特に観光地までの行き方がわかりづらいとの声が多く、町の総合計画では観光の活性化に力を入れるとされているが、この現実には大きな問題があると感じました。

### 実際に取り組みました

観光地までルート動画を制作し、観光地までのアクセスを改善して観光満足度を向上させることができれば、関係人口の増加につながるのではないかと仮説をたてました。

まず既存の観光マップやインターネット上の地図、SNS等の分析を行い、観光満足度に関連する論文等の調査研究も行いました。

そのうえで観光地までのルートを撮影して編集し、その動画のQRコードがついた観光パンフレットを作って町内外に配布し、効果を検証することとしました。

### 様々な論文等も調べました

観光満足度に関する論文等も調べましたが、観光満足度の向上は関係人口の増加につながる可能性が高いことがわかりました。

また、関係人口の約2割は移住に意欲があることもわかりました。

更に、定住人口1人当りの年間消費額は約125万円である事もわかりました。

### 「観光」に着目しました

そこで本町の主幹産業の一つであり、外部からの新たな人材を確保できる「観光」に着目し、観光満足度の向上による関係人口の増加を目指すことにしました。

観光地へのアクセスの改善が観光活性に効果的であるという研究結果もあり、さらに高校生にもできて、他に同様の取り組みがないことなどの理由から、観光地へのアクセスの快適化に取り組むことにしました。

※「おぢかいどうが」とは？  
「小値賀×街道（ルート）×移動×動画」という、制作した観光ルートマップの特徴を表す4つの言葉をかけあわせた造語です。

### 関係人口増える可能性は大

パンフレットにつけたアンケートの結果、実際に観光満足度が向上したと答えた19名中の12名がルート動画が満足度向上につながったと答えました。

論文等からも、ルート動画は観光満足度の向上につながり、観光満足度の向上は関係人口の増加につながる可能性が高いと考えられます。

よって、ルート動画は関係人口の増加につながる可能性が高いと考えます。

観光客にも町民にもメリットがあり、さらに経済効果も大きい取り組みだと考えられることから、私たちは冒頭の3つを提案します。

### 後輩からの質問

問 観光満足度の上昇が関係人口に及ぼす影響を評価するのに、アンケート調査の数は十分なのでしょうか。  
答 指摘のとおり十分とはいえない。今後、データを蓄積して継続評価していくことが重要と考えている。



1億3293万円増

43億2248万円に

#### 主な内容

ふるさと留学学生寮  
改修工事費  
5800万円増

町内公衆トイレ  
整備工事  
520万円増

国民健康保険診療所  
特別会計繰出金  
1359万円増

## 令和7年度 一般会計 補正予算

国民健康保険 513万円増 4億5253万円に  
後期高齢者医療 340万円増 6220万円に  
介護保険 2021万円増 3億8721万円に  
診療所 1448万円増 4億4048万円に

## 令和7年度 特別会計 補正予算



いよいよ12月1日一般公開！！

【増額理由】  
①天井の補修  
②窓枠木製建具の修繕  
③祭壇西側部屋にフカシ壁を設置  
【補正額】76万円  
【総工費】2億4986万円  
※千円以下は切り捨て

3カ年におよぶ大規模な保存修理  
工事も佳境を迎えています。  
そんな中、本9月会議において  
76万円の増額補正が執行部から提出  
されました。工期への影響が懸念さ  
れていましたが、順調に完了しそ  
うです。

### 最後の補正？ 旧野首教会保存工事



腐食が激しい  
トレーニングルームの壁

●総合体育館改修工事  
【金額】6182万円  
【工期】150日間

●庁舎改修工事  
【金額】6160万円  
【工期】180日間

2件の工事請負契約が締結され  
た。ひとつは庁舎改修工事、もうひ  
つは総合体育館改修工事で、いず  
れも老朽箇所を改修予定だ。庁舎は  
バリアフリー工事も含まれる。  
総合体育館は何年も雨漏りが続い  
ており、特にトレーニングルームは  
壁や床板の腐食が顕著だったが、よ  
うやく改修がはじまる。  
町内の公共施設が軒並み老朽化  
し、人口減少も加速するなか、今後  
の公共施設のあり方を町民の皆さん  
と議論していく必要がある。

### 役場・総合体育館 改修工事はじまる



男子寮として改修されるセミ  
ナーハウスの一室  
全室フローリングに改修予定

令和2年度から本格始動した「小  
値賀町ふるさと留学」も今年で5年  
目を迎える。  
令和3年度からは最大12人が入居  
可能な「ちかまる寮」の運営が開始  
され、入寮型の留学生の受け入れを  
行ってきた。  
令和6年度からは入寮型の留学生  
は女子に限定していたが、留学生の  
受け入れを強化するため、本年度中  
に男子寮を整備する方針だ。  
その整備費として5800万円の  
増額補正が提案され、議会は可決し  
た。新たな寮の運営には、人手が必  
要不可欠なため、工事と並行して人  
材確保が重要な課題となる。

### 男子寮ができます！ ふるさと留学を強化

定例9月会議を10日間の日程で開  
催。9月会議は前年度の決算審査の  
ため、通常の定例会議に加え決算特  
別委員会が設置される。今田委員長  
のもと、慎重な審査を行った（決算  
特別委員会の詳細は6～9頁へ）。

一般会計では6名が一般質問を行っ  
た。そのうち橋本議員は本紙2～3  
頁に示した、高校生による地域探究  
発表の内容を取り上げ、町長の考え  
を質した。  
傍聴席は実際に提案した高校生や  
先生方で埋め尽くされ、いつもとは  
違う雰囲気の間となった。

### 一般質問 高校生が傍聴に

一般会計補正予算では、公衆トイ  
レ整備事業（当初予算1790万円）  
において、520万円の増額補正が  
執行部から提案された。厳正な審査  
の末、賛成多数で可決された（詳細  
は10～11頁へ）。

### 巨額の工事費に衝撃 公衆トイレ整備事業

異次元の物価高  
公衆トイレは2000万の時代へ



# 乱れ飛ぶ質疑！

## 決算審査【一般会計】

令和7年9月11日から12日まで



森岡 委員

小辻 委員

立石 副委員長



決算特別委員会



今田 委員長



江川 委員



橋本 委員

横山 監査委員

### 歳入関連

問 総合センター使用料の中には会議室や他の部屋も入っているのか

答 町民ホール、娯楽室、中央会議室等センターの各部屋の合計の使用料となっている。

問 年間8万円は少なく感じる。

答 文化団体の使用料については減額もしくは免除にしている。

問 狂犬病予防接種の接種状況をしっかりと把握しているか。

答 管理を徹底しており心配ない。

問 資源物販売収入が昨年度より103万円増額となった理由は。

答 鉄くず、スチウム缶、アルミ缶等を販売し増額となった。

問 医療・福祉・介護人材就職支援金返還金について、退職の理由は。

答 特別養護老人ホームで介護士として就職した方が、年度途中で離職したため返還された。

退職の理由までは聞いていないが、職場環境等が合わなかったのではないか。

### 敬老祝金の行く末は？

問 敬老祝金の見直しは。

答 節目支給（90歳、100歳など）についてアンケート調査を行った。その回答も含めて、今後の敬老祝金のあり方について協議したい。

問 公園の遊具点検の調査結果は。

答 一部修繕が必要なのはあったが、使用可能との判定だった。

問 イノシシの被害防止対策を専門家に依頼する予定はあるか。

答 これまで専門家に依頼したことはない。今後検討したい。

問 防風林の植栽をしているが、なかなか大きくならない。何年くらいで防風林としての役割を果たすのか。

答 確かなことは言えないが、10年以上はかかるのではないか。

問 六島漁港内藻場回復実証事業の現状について伺う。

答 網で囲って藻場が形成されたので、それを母藻に浜津の船崎など数カ所に展開する取り組みをしている。また、ブルーカーボンにつなげて行けるよう藻場造成を進めていきたい。

### 歳出関連

### 新HPの評判は？

問 町ホームページリニューアル業務委託料が当初予算より大幅に減額になった理由は何か。

答 プロポーザルで競争入札を行い4社から応募があった。各関係機関から集まった審査員により審査した結果だ。

問 パソコンで見ると映像がとても綺麗だが、携帯のような縦型の画面だとインパクトに欠けると思うが。

答 そうした意見も上がっている。今後改善していきたい。

問 マイクロ無線による超高速ブロードバンドは、設置当初から速度が非常に遅かったと聞く。現状はどうか。

答 納島、大島ともに改善している。

問 社会福祉協議会の介護サービスの現状と今後について伺う。

答 国の介護報酬が低く、どの福祉事業者でも安定的な事業運営ができていないようだ。

社協では人員配置を小規模にする話はあるが、訪問介護がなくなることはないと思っている。

### 危険なブロック塀は？

問 空き家の崩れかけたブロック塀だが、通学路の緊急対策措置として来年度予算に計上する予定はあるか。

答 原則として経費は所有者負担となるので、予算化の予定はない。

問 学校教員の働き方改革について、PTAが負担となっている現状をどう思うか。

答 県内のどこの市町村においても、PTAが働き方改革のネックになっている。

業務をできるだけ保護者にやっていただくことで、教員の業務負担の軽減につなげたい。

問 教育現場で標準化しているICT教育だが、かえって学力の低下につながるとの研究結果もある。

答 ICT先進国でそうした結果が出ていることは承知している。

問 国はデジタル教科書を正式な教科書と位置づけるようで、紙、デジタル、デジタルと紙を併用した3つから選択することになる。

小学校の教科書改定が2年後に予定されているので、慎重に選定したい。



# 課題山積の社会保障… 上下水道料金の値上げは不可欠か

(※) 不用額とは？  
予算として計上されていたが、  
年度末までに使われなかった金額のこと。



介護は島の福祉の最後の砦

**問** 不用額(※)が多額である理由は。  
**答** 要介護者、サービス利用者が少なくなったことが主な要因だ。  
通常、施設介護サービスは要介護3以上から入所するようになっていくが、要介護1、2の一人暮らしができない方が特例入所することがある。  
こういった方々は、要介護3以上の方たちに比べて保険給付費がかなり低く、不用額の増加につながった。  
また、空き部屋が多いのも影響があったと見ている。  
加えて、本町が取り組んでいるフレイル予防の影響で、要介護者になる方やデイサービス、訪問介護利用者が増えていることも要因の一つだ。

## 介護保険事業



離島の病院としては十分に機能している

**問** 出前議会で、専門医外来診療で0歳児の検診ができないと聞いたが実態はどうか。  
**答** 住民課の保健係事業の0歳児健康診断は上五島病院の小児科の先生を派遣いただいで対応している。  
出前議会のご意見は把握しており、毎月、長崎医療センターから派遣されている小児科外来の医師に確認したところ、病気でなくても相談いただければ診療するとの事だ。

## 国保診療所

**問** 収支を見ると、一般会計からの補助金と出資金を合わせて約1億3600万円充当している。  
もはや他会計からの補助なしでは成り立たない状態だが、下水道料金を今後どのように考えているか。  
**答** 下水道事業の経営戦略を今年度作成するので、その結果を基に判断したい。

## 下水道事業



生きていく上で水は絶対不可欠

**問** 未収金が多いようだが、どう対応しているか。  
**答** 未収金の額及び件数については、増加傾向にある。滞納者、未納者には督促等を適切に行っている。

## 簡易水道事業

# 決算審査【特別会計】

令和7年9月11日から12日まで



決算審査2日目は西海国立公園指定70周年記念ポロシャツを着用した

## 渡船事業



島民や観光客の足として大活躍

**問** はまゆうの営業収入が大幅な収入減となっている理由は。  
**答** 令和5年度は大島分校の改修工事が行われていたが、令和6年度は工事が終了したので、大きな収入減になったのではないかと考える。  
**問** はまゆうの備品購入費の予備費充用の理由は。  
**答** 衛星携帯電話のサービスが停止してしまい、急遽必要になったので購入した。  
また、大きな修繕等がいつあるかわからないので、予備費から充用した。

## 国保事業

**問** 国民健康保険税の歳入が、昨年度より大幅に減収になった理由は。  
**答** 国民健康保険税を減額したためだ。

## 後期高齢者医療事業

**問** 医療給付費が県全体よりも安い理由は。  
**答** 当町の令和6年度の一人当たりの医療給付費は56万6千円ほどで、令和5年度よりも5万円ほど下がっている。  
県内市町と比較すると、一番高い長崎市は1億4千万円と、ほぼ倍となっている。  
本町は離島なので、都会と病院までのアクセスに大きな格差があり、思うように医療を受ける事ができないのが主な理由と思われる。



# 修正動議出されるも 2310万円トイレ可決！



YouTubeでも  
ご覧ください



採決の様子、修正案に賛成の議員が起立している。

質疑終了後、森岡議員が

修正動議（※1）を提出！！

町民の理解は  
決して得られない！

当初予算1790万円は、西町公園付近と漁協横公衆トイレの2カ所だったが、今回の補正予算では西町公園のみで2310万円となっており、いくら資材、人件費が高騰しているとはいえ、当初予算段階での執行部の目測の誤りは、あまりにもずさんしか言いようがない。

公衆トイレとは、自宅や宿舍、学校、職場に間に合わない時に緊急的に利用するものであり、利用者に対し一定の配慮が必要ではあるものの、過剰に快適さを追求し提供する必要はない。

時代に則したものを作るならば、男女別々のトイレを作るべきだろうが、それはあくまでも、潤沢な資金があればの話だ。

担当課の答弁において防犯面の話があったが、近くに交番がある為、犯罪発生率は極めて低いものと考えられる。

また、担当課の答弁に、一室で

あれば1千万円減の約1300万円で出来るとあった。

まだ町民の感覚とは乖離していると感じるが、公衆トイレの必要性から一定の理解は得られるものと考え、執行部に再考を求める。



修正動議の趣旨説明をする森岡議員

※1 修正動議とは？

議案の一部に修正を加える提案をすること。

今回は補正予算の公衆トイレに関する部分にのみ修正を加え、増額分520万円を削減するものだった。

飛び交う質疑！！

それって本当に必要ですか・・・？

今年度整備予定の公衆トイレに、目を疑うような補正予算案が執行部から提出されました。質疑の応酬の末、森岡議員が修正動議を提出。その結果はいかに。

主な質疑と答弁

問当初予算から520万円の増額（原案）となっているが、そもそもこれだけの高額な公衆トイレをつくる目的、また利用者はどのような方々を想定をしているか。

答防犯面や、利用者の心理的負担、衛生的を加味し、男女別々の多目的トイレを備えた2室の公衆トイレを建設したい。

利用者は、一分団の消防団員、西町公園の利用者、観光客だ。

問男女を分けるのは理解できるが、2310万という金額は町民の理解を得られない。

答理解が得られないという認識はある。

費用を抑えたいと思い、屋根の素材、壁、照明を安価なものにし削減した。

トイレ1室でも良いと思ったが、女性に配慮した形だ。

将来、男女分けておいて良かったと思えるのではないかと考え分けることにした。

問トイレ1室にすれば工事費はどれくらい安くなるのか。

答1千万円減の1300万円だ。

問場所的に観光客の利用は少ないのではないか。

答そうは思わない。

問なぜ漁協横トイレよりも西町公園を優先したのか。

答総合計画では1学年15人が目標なので、多くの子どもが遊ぶ西町公園を優先した。

問トイレのために空き地を購入したとは初めて聞いた。こんなに土地の面積は要らないのでは。

答土地利用計画は後手後手に回ってしまっている。

問条件の良い補助はなかったか。

答探したが見つからなかった。

●最近犯罪が多いので、防犯面で男女は分けるべきだ。



小辻議員

原案  
賛成！

●町民の心情的にとても理解が得られない。防災トイレであればもっと条件が良く、町の手出しが少ない補助があった。



立石議員

修正案  
賛成！

2310万円の  
トイレ建設へ

討論の後、採決となりました。結果は、

【原案賛成】・・・4名

橋本議員、今田議員、小辻議員、江川議員

【修正案賛成】・・・3名

立石議員、森岡議員、横山議員

となり、原案賛成多数で、補正予算は修正されず可決されました。





# 町民レクリエーション大会 復活

地区の威信をかけた熱い戦いが繰り広げられた

## 5年ぶりに復活！ 第54回町民レクリエーション大会

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の開催を最後に長らく中止となっていた町レクが復活しました。

コロナが5類へ移行したのが令和5年5月のこと。昨年度はコロナの影響はほぼ無かったものの開催を見送られたため、今後もう復活はないのでは？とも噂されていました。

復活を望む声や望まない声、様々な意見がありながらの開催となりました。  
大会終了後、その声の一部を集めました。

### 肯定的な意見

- 参加するまでは億劫だったが、参加してみると楽しめた。
- 特に移住者にとっては地域住民とのつながりを深める機会となるため来年も開催してほしい。
- 笛吹地区で参加できない小さな地区はひとまとめにしては。

- 午前中のみか、午後のみの方が良い。
- キッチンカーが来ていることに気づかなかった。予めお知らせがあると助かる。

- 高齢者住宅に入居されている方の席は、希望があればもともとその方が住まわれていた地区に座るようにしたらどうか。

- 地区単位だと小さな地区は出られない。

- こども園の運動会も兼ねて良いのでは。

- グラウンドが広く子供達の顔が見えない。もう少しトラックを小さくしてはどうか。

- 子供達が暇そう。もう少し子供達の競技を増やせないか。

- 皆でお昼を食べるのが好きなので、お昼を挟むのは良い。

での出場は難しい。

- 参加する人、参加しない人の二分化が進んだ。

- 競技に出場しない人は来ない。

- 昼ご飯が面倒くさいので家に帰る（午後から来ない）。

- 女性の意見がないから、お昼を跨いだ開催になったのでは。

- 家族を持っていない人は参加しづらい。独身は肩身が狭い。

- 畜産業者は翌日が牛市準備のため、最悪の日程だった。

- 今年を最後にしてほしい。

- 職員や開催スタッフの貴重な休日がなくなり気の毒。

- 祭りのあとだったので日程的にきつかった。

- 家族を持っていないと参加しづらい。独身は肩身が狭い。



肌寒いですが  
ケガないように！



きやー  
くたびれた！

- やって良かった。全町民参加型のイベントは必要。
- 体育館がいい。
- 国際、島内交流が出来てよかった。
- なんだかんだ好きな人は多い。
- 風向きに助けられ今年は家畜市場からの臭いがなくてよかった。
- 開催については民主主義的に各地区に意見を聞いてほしい。
- 農協、漁協や商工会から豪華賞品があればいいのに。
- 翌日はみんな筋肉痛。
- 長縄とび、三輪車の時間が長い。

### 否定的な意見

- 地区の役員はお世話が大変。
- 高齢者の方が多いのに出られる競技が少なくなつまらない。
- 高齢化が進んでおり、地区単位



# 介護 及び 北松西高校のこれからについて

## 『北松西』を『小値賀』高校に！！

●個人支援は難しい。事業所経費の負担を軽減し、浮いた財源で人件費に当てる考え方で進める。

**保険料は払ったが受けるサービスがない**

●本町に暮らす全ての人の幸せ、それが福祉。  
保険料は納めたが、受けるべきサービスが足りなければ、それが充実する町外の子どもの元へ移住する。  
本町へ移住を募集するその足元で、暮らし続けたい方が、他へ移住する。これでは本末転倒だ。  
本町を今まで支えた先輩方に遠慮なくサービスを受けてもらう。

●そうでなければ、持続可能な町でない。介護福祉にこそ、地域おこし協力隊が必要だ。  
●隊員の募集は、その方向で進めたい。

**介護事業者に**

**支援金を**

●日本中で介護人材獲得競争が激化する中、各事業所での解決は限界だ。  
団塊の世代が後期高齢者となり、各地で介護需要が高まり、介護崩壊、家族崩壊が増えている。

今後、町民が安心して住み続けることのできる社会を実現するため、町として介護従

**必要なところに人手を**

●介護高齢者福祉の充実こそ、移住の先の定住に繋がる。地域おこし協力隊を難しく考えず、シンプルに、人手が必要な現場に結びつけてほしい。

●今後は、仕事や枠にとらわれず、協力隊を募集していく。

**こども園から高校まで**

**オール小値賀**

●先月、県教育委員会と意見交換し、インクルーシブ教育推進や、独自の単位取得に対する理解を得た。

●その中で、校名変更も、地域や生徒・卒業生が賛成すれば問題ないと聞いた。

●北松西の校名は、町外の方にとって、高校が小値賀町にあることが分かりづらく、本町の未来を担う「唯一の高校」という魅力を伝える上でも、機会損失だ。  
●校名を「小値賀高校」へ変更してはどうか。

●事者に対し、毎月支援金を支給し、賃金面の介護職の魅力を高めてはどうか。

●介護従事者の方々には心より感謝している。  
●国・県の活用できる事業の情報共有し、事業所と協議し、支援に向け検討する。

●校名変更は地元の合意形成があれば可能だ。

●校名は、その存在をわかりやすくする。

●ただ、「北松西」という名前には長い歴史もあり、様々な方の意見もある。

●まずは、魅力化推進協議会や、学校運営協議会、同窓会などで協議いただく。

**模擬公聴会**

**私にも言わせて！**

●海外から人材を受け入れる取り組みをして欲しい。

●校名はおちか高校で良いのでは。

**【 質問を終えて 】**

日本国民の40歳以上の義務である、介護保険料を納めるのは当然です。しかし、高齢・障がい・介護などが必要になったとき、受けるべきサービスがないとなれば、何の為に保険料を納めてきたか分かりません。

いくら小値賀が好きでも、生活に必要なサービスを受けられなければ、町外への移住を余儀なくされます。

住み慣れた町で、誰もが安心して暮らし続けることのできる小値賀にしていきたいです。



※ここから動画が見られます！

えがわ はるとも  
江川 春朝議員



# 高校生の観光ルート動画の活用について

## 高校生のアイディアを 政策に活かせ！

**観光客の満足度は96%!!  
リピート率は30%!!**

観光満足度と関係人口の係性について、町としての分析・調査体制の構築を検討している。

●五島列島おもてなし協議会では、令和5年度の小値賀町の観光客満足度はおよそ96%、リピート率は約30%と高い数値だ。

観光満足度の向上は非常に重要な要素であると認識しており、観光振興計画における成果指標や、重要業績評価指数にこれらの指標を位置づけ、効果検証に努めたい。

**外国人観光客が多い！  
早く多言語対応を！**

●動画制作・発信に対する町の支援体制、多言語対応の支援策はあるか。

●動画制作や情報発信のためのシステム構築、また多言語対応についても、必要に応じて予算措置を講じたい。  
令和6年度の訪日外国人宿

北松西高校生による「おかいどうが」制作は、観光地へのアクセス課題を高校生自らが分析し、ルート動画とパンフレットを作成した先進的な取組である（2、3項参照）。

第5次小値賀町総合計画の方向性とも一致しており、町として今後の政策にどう活かすのか伺う。

泊者数は215人となっており、前年度比で27・2%の増加となっている。

こうしたインバウンド需要の増加は、経済効果が期待されることから、町としても必要な施策と認識している。

観光振興計画においても、外国人旅行者が本町を訪れた際に案内図などが十分に機能するように、グーグルマップを利用したQRコード化と併せて、多言語対応に向けた取組みを進めたい。

●満足度96%は高いが、母数や満足要因を明確化すべきだ。

重要業績評価指数は最終目標に向けた進捗指標であり、観光による所得向上と関係人口増を最終目的とすべきだ。満足度100%、リピート率50%を目標に掲げて施策を進めてほしい。

また、町が主体となる動画発信の体制整備と予算化について確認する。

●満足度調査のサンプルは毎年約200件で、調査内容の見直しを検討している。

**高校生の取組みを  
計画に盛り込みたい！**

●町として、この取組を第5次小値賀町総合計画の後期計画等に反映させる考えはあるか。

●後期基本計画は令和11年度からスタートするので、まずは実効性が高く、対応が可能なものを実施計画に反映させる。

また、より具体的な取組内

重要業績評価指数は観光による町内所得向上を重視し、関係人口増加につながる指標として活用する。

動画による発信は外国人観光客への有効な手段であり、動画編集研修や発信基盤整備、多言語対応を含め令和8年度からの予算化を目指す。

**若者の力が必要だ！  
若者主体のまちづくり!!**

●若者主体の地域づくり支援制度を創設する考えはあるか。

●若者が主体的に地域づくりに関わることは、当町の将来にとって極めて重要だ。既存の地域づくり事業や補助制度を活用することにより、柔軟に支援をしたい。

関係機関や学校等と連携しながら、若者の思いや活動が継続的に展開されるよう必要な支援を検討する。

なお、まちづくり担い手事業により補助率3分の2、上限100万円幅広く対応可能と考えている。

### 【 質問を終えて 】

この高校生の取組は課題発見から解決策提案まで行った意義深い事例であり、町の政策として採り上げ継続すべきだと思います。

行政は若者政策の出発点として位置づけることで地域の担い手育成にもつながるものです。

高校生には町を離れても関係人口として、故郷である小値賀町にこれからもずっと関わり続けてほしいと願います。

**模擬公聴会**

**私にも言わせて！**

●傍聴した高校生より取り上げていただいたことに非常に感謝しています。

●町長から前向きな答弁を聞けて嬉しいですね。



※ここから動画が見られます！

はしもと たけし  
橋本 武士議員



# 歯科医師不在の対策・対応について

**痛くてたまらん！  
早く歯医者を探してくれ！**

**町外受診は大変だ！  
急げ歯科医師確保！**

町高齢者は歯の治療が増える傾向があり、町外への受診は高齢者や障がいを持つ方には負担が大きい。  
この住民の不安を、一刻も早く取り除くよう努力を求め

特に子どもや高齢者の歯科・口腔の健康には、歯科医師の存在が非常に大きい。  
子どもは歯科健診については、歯科医師と協議し実施予定である。

高齢者は、福祉事務所の事業の通いの場で、地区公民館などで、心身虚弱回避のための体操や血圧測定を行い、口腔ケア指導をしている。

子どもに対しての医師の体制は安心したが、高齢者の口腔ケアは身体全体の病気に直結する可能性がある。

高齢者の中には、町外歯科には一人では行けない方もいるので、歯科医師の確保が急務ではないか。

現在、医療法人側が医師を

**みんな困っている！  
どうする歯科診療所**

町6月から歯科診療所の診療がされていない。

本町の高い高齢化率を考慮すると、歯科医師の不在は町民にとって時間や経済的にも大きな負担だ。

歯の健康は様々な病気にも影響する。それを踏まえ、歯科医師不在の問題を町長はどう認識しているか。

探している状況であるが、理事と協議し問題解決に努める。

**募集の給与50万円は  
いくら何でも安すぎる**

町月給50万円で歯科医師を募集していると耳にするが、全国的な平均月収は70～80万円と聞いている。

本町は診療所医師には、年間数千円を予算投入しているが、歯科医師を本気で求めるなら本町もそれなりの負担や補助をする必要があるのでは。

歯科診療所は、ボーナスもなくなり経営は赤字であつたらしい。  
その人件費や赤字補てんなど、できる範囲での支援を協議したい。

そして、本町はその状況に對し、どのような対策・対応で解決するのかを伺う。

4月に歯科診療所の理事を訪ね、人口減少、町外歯科医院への受診、また予防策による虫歯減少などの理由から、受診者数・診療収入の減少に繋がり経営状況が悪化したと伺った。

町外通院に要する時間と身体的な負担、交通費の負担増は認識している。

**歯科診療所は  
よく頑張った！**

町歯科診療所は数十年の間、町民の歯の健康維持に貢献し、赤字経営でも頑張つて続けてきてくれた。

診療所の医師も重要だが、歯の治療が必要な方にとって、歯科医師も重要だ。

これからは、医療法人と協議し本町も経費・人件費に対して協力することで、官民協力して歯科医師募集の条件を改善し、歯科診療所をもう一度復活させるべきだ。

公立で歯科医院の開設は難しいが、本町も相応の負担を検討したい。



休診中の歯科診療所

## 【 質問を終えて 】

歯科医師は小値賀町にとってなくてはならない存在ではないでしょうか。

離島であり、高齢化が進む中、佐世保まで通院するのは身ともに負担が大き過ぎます。

人材不足が叫ばれる中、そう簡単でないことは理解できますが、町民のために一刻も早く歯科医師の確保に努めて欲しいものです。

歯科医師確保は最優先であり、歯科医師募集を本町ホームページへ告知した。本町も歯科医師の確保に努力していく。



※ここから動画が見られます！

よこやま こうそう  
**横山 弘藏議員**



# 小値賀港の整備 及び 公営住宅の保証人について



使われていないシェルター通路（手前）

問 高速船利用者の送迎車両の駐車スペースが不足しているので、南東側のレンガ敷スペースを送迎専用の駐車場として活用してはどうか。

答 車両や人の動線、車両の配置など利用者の安全性や利便性の確保を第一に、関係機関と連携しながら町の玄関口にふさわしい空間づくりに努めていきたい。

問 とりあえず、使われていない乗降ラップやシェルター通路をどこかに移動してはどうか。

答 移動する方向で検討する。

## 魅力ある玄関口で 観光客をおもてなし！

昨年12月の定例会議で、地域住民の生活の質を維持し、観光客ならびに交流人口の増加を図るための施策について町長の考えを伺った。

特に本町の主要玄関口であるターミナル周辺に関しては前向きな答弁をいただいたものと認識しているが、具体的な変化は確認できないため改めて町の方針と進捗状況を伺う。

公営住宅は住宅セーフティネットとして福祉的機能を持ち、居住者の生活基盤となっている。

本町では町営・町有住宅の入居に当たり原則2名の保証人が必要だが、高齢者、障がい者、ひとり親世帯など保証人の確保が難しいケースもある。

国が平成30年に保証人不要の方針を示したことから、全国の自治体で保証人を求めない仕組みへの移行が進んでいる。

### 保証人制度を緩和し 住みやすい住宅を！

問 福祉の増進だけでなく積極的な移住政策を展開している本町としても、保証人制度を撤廃すべきではないか。

答 町は離島という地理的・社会的条件のもとで、限られた財源と人員により町営・町有住宅の維持管理を行っている。滞納家賃や原状回復に伴う費用負担、さらには生活上の

### 人に優しい小値賀町！ バリアフリー化を！

問 駐車場の雨除けのアプローチから直線的にターミナルに向かう歩行者が多い。横断歩道を新設し、道路を切り下げバリアフリーとすべきではないか。

答 改善の必要性は認識しており、施設管理者の県に対して要望を行った結果、今年度対応するとの回答があった。

トラブルへの対応などについては、島内の人的ネットワークや保証人制度が一定の抑止力・安全網として機能しているのが実情だ。

問 条例では保証人については柔軟に対応ができると書かれているが、何か実例はあるか。

答 保証人が2名確保できずに1名だけで入居した人がいる。

問 それであれば初めから保証人は1名と条例を変えてもいいのでは。

答 条例を変えずに従来どおり柔軟に相談に応じていく。また福祉部局と連携し、入居を希望する方に対するていねいな対応も心掛ける。

また国の動向や他自治体の取組を注視し、より適切な制度運用のあり方について検討を続けていきたい。

### 【 質問 を 終 え て 】

町民の皆さんの福祉の増進をめざして一般質問を行い、その後の進捗もできるだけ確認するようにしていますが、せっかく前向きな答弁をいただいたにもかかわらず、なかなか前に進んでいかないことがあります。

自治体の施策は民間に比べて手間と時間と費用が多くかかると言われていますが果たしてそれでいいのでしょうか。

町民の皆さんの今の暮らしと未来に向けて、皆で日ごろの一步一步を大切にしていきたいと思います。



※ここから動画が見られます！



いまだ みつひろ  
今田 光弘議員



# 魅力ある教育・福祉分野の連携策について

## 目指すべきは！ 日本で最も子育てしたい島！

### 短期的な人材不足解決の 手段として給与増は？

問 全国の調査で保育教諭の離職理由の上位に給与の安さがあることが上がっている。

このことから、すぐにでも取り組める人材確保の手段として給与アップは考えているか。

答 保育教諭は町の職員であり、保育教諭だけ給与を上げることがは慎重に協議する必要がある。

### 幼児から高校生までの 魅力ある教育観が必要

問 「幼小中高一貫教育」に挑戦する考えはあるか。

答 第4次総合計画でも盛り込まれており、取り組む考えはあるが、5歳児検診の結果をもとに小学校と情報共有するに留まっているのが現状。

問 本町の自然環境を存分に活かした独自の教育に取り組む、0歳から高卒までの大きな教育観を掲げる。このことが、子ども・保護者・教育者

幼児教育の重要性と、行政施策でもっとも費用対効果が高いのが「教育」であると研究者によって示されている。0歳からの幼児教育も含めた切れ目のない教育観を定め、「幼小中高一貫教育」に取り組むことが、子どもたちにとっても、本町での子育ての魅力を高めるためにも、保育士不足を解消するためにも、非常に重要と考える。

定住促進につながるのでは。

答 今後は、乳幼児から高校生までの一貫した教育のあり方についても議論を深め、本町の豊かな自然や文化を活かした教育を進めることは、子ども達の成長にとって意義深いものと考えている。

本町のことを「子育てしたい島」と言っていただけという、各学校・家庭・行政・地域が協働した切れ目のない、一貫した学びの仕組みづくりに努める。

### 「保育園留学」で 小値賀ファンを獲得！

問 新たな関係人口創出策として「保育園留学」に取り組む考えはあるか。

答 本町は、自然豊かで土地柄からみても保育園留学に最適な地域である。

保育園留学を実施することで、小値賀の魅力発信と定住に繋がる良い施策と思う。受け入れ態勢も含め関係部署と検討したい。

### こども園の人材不足は 喫緊の課題だ

問 こども園の人材不足をどのように捉えているか。

答 こども園における保育及び食育は、子どもの生涯にわたる人格形成や学習の基礎を培う上で非常に重要。

保育教諭の定員割れは、保育の質の低下につながるため、人材不足は緊急性の高い課題と捉えている。

### 子どもと大人を もっとごちゃまぜに

問 保育と介護という本町が共通して抱える人材不足課題を解決する将来的な構想として、保育・デイサービス・公営塾・コミュニティカフェ・宿泊施設などの多世代共生型福祉施設を創設する考えはあるか。

答 複数の福祉サービスを同じ施設や、同じ敷地内で提供することや、子どもや高齢者が、普段の生活の中で触れ合うことができ、生きがいや健康やかな成長に繋がる良い施策だ。

ただ財源や場所の問題、既存施設の活用やサービス事業者の考えもあることなので、慎重な判断が必要であり、現時点での創設は考えていない。

まずは子育て支援サービスやデイサービスなど、個々のサービスのなかでお互いが触れ合えるような取り組みから始めていきたい。その中で、保育や介護人材不足の解決の糸口を見出すことができればと考えている。

### 【 質問を終えて 】

「こんなにも自然豊かで、深い歴史があり、文化的で、素朴で人懐っこく、優しく楽しい島民のなかで、元気にまっすぐ育ってほしい！」と思わせるような、魅力ほとばしる教育ビジョンは小値賀だったら描けるし、創れると思います。

既に島にある魅力的な資源をどう活かすか。

新しく創造するのではなく、目の前にあったり、奥のほうで眠っているヒト・モノ・コトを咀嚼・翻訳し、対話することで、手触り感のある深い学びがきっと得られると思います。

※ここから動画が見られます！



たていし こうすけ  
立石 光助議員



# 要領改訂による北松西高校の方向性について

**理想ばかりでは進まない！  
現実を直視せよ！**

令和10年頃に高等学校の教育指導要領が改訂され、より地域性が高く、特色の強い北松西高校になるだろう。  
高校存続に生徒数の確保は急務だが、「それだけ」を目的にしては、本来の高等学校のあり方を根本から覆すことになりかねない。  
懸念するのは、行き過ぎた改革をした結果、本町の子供達に思いもしない影響が出ないかということだ。

**インクルーシブ教育を  
どう取り入れるか**  
問 インクルーシブ教育(※1)を推進する考えはあるか。  
また北松西高校はどの程度まで受け入れを拡大するか。  
答 教育指導要領改訂により、北松西高校がこれまで以上に地域の特色を反映した教育が展開され、より地域に根ざした学校づくりが可能になると期待している。

一方で、存続には生徒数の確保が重要な課題だが、教育はあくまで子供達一人ひとりの成長を支えるものであり、その根本を見失うことがあってはならない。  
子供達が安心して学び、自分の可能性を伸ばしていける教育環境を確保することが町としての責務であると考えている。  
(町長)



※ここから動画が見られます！

もりおか せいゆう  
**森岡 正雄議員**

**現在の職員数では  
対応できないのでは？**

答 入学希望者の特性等に応じ、提供可能な合理的配慮等について確認の上、本人・保護者、及び中学校と協議を重ね、受入体制について個別に検討する。  
どの程度まで受け入れを拡大するかについては、長崎県公立高等学校入学選抜実施要領に基づき選抜する。  
(教育長)

問 教師もなりて不足が叫ばれているが、現在の職員数で対応可能か。  
答 県の入学選抜実施要領に基づいて選抜を行い、対応可能と判断後、受け入れがなされるので心配ない。(教育長)

**北松西高校の存続に  
どうつながるのか？**

問 生徒の受け入れを拡大すること、北松西高校の存続問題解決となるか。

**遠隔授業の単位認定は  
不公平感を生み出す！**

問 一番危惧しているのが、北松西高校の生徒数確保ばかりを優先し、不登校の子供を積極的に受け入れる為に、遠隔授業(※2)を出席扱いにし、単位認定してしまうことだ。  
遠隔授業を受けた子と、ちゃんと頑張った課題を済ませて登校した子を、同列で扱

答 強みである少人数教育のきめ細かな指導による学力の保障と、地域探究を柱としたふるさと教育・キャリア教育を両輪とした取組をしっかりと進め、その強みを魅力に感じ、生徒の確保を図ることが重要だと考える。  
(教育長)

問 生徒の受け入れを拡大すること、本町の子供達に影響はないか。  
答 対応可能と判断した上で受け入れるので、全ての生徒の学びに責任が持てる状態であり、心配には及ばないと考えている。  
(教育長)

問 教育長はどんな子供が北松西高校に向いていると考えるか。  
答 ①国公立大学に進学したい人。  
②実社会で役立つ、思考力、判断力、表現力、協働力を身につけたい人。  
③地域社会の課題を学び、大人に問い提案したい人。  
④リーダーシップを身につけたい人。  
⑤自然の中で暮らし、体験し、住民と交流したい人。  
向いていると考えている。  
(教育長)

## 【 質問 を 終 え て 】

私はインクルーシブ教育に反対しているわけではありません。北松西高校の環境、設備、人材などを考慮すれば、どうしても限界があり、どこかで線を引かざるを得ません。

そうした現実を踏まえ、令和10年頃の指導要領改訂に向けて、北松西高校の未来像を検討する必要があります。

今、少子化の煽りで、学校は子供の奪い合いとなっています。私立校に比べ公立校は制限があり、競争に遅れをとっています。だからこそ、『今』動かなくてはならないのです。

※1【インクルーシブ教育】  
国籍、人種、障がいの有無にかかわらず、全ての子供が同じ場所で学ぶこと。  
※2【遠隔授業】  
インターネットで繋ぎ、登校せずに自宅で授業を受ける。



# 島の宝

小値賀町に關係する「ひと・もの・こと」

を議会の目線で紹介する新企画。

今回は、

『角永 貴靖さん』です！  
かくなが たかのぶ

## 農業で小値賀の 景観を守り抜く！

◎ 農業をお仕事にしようと思ったきっかけを教えてください。

◎ 父の仕事を引き継ぐと思ったからです。タイミングとしては、自分も40才になって父が70才過ぎたことと、結婚し子供も生まれたので、そろそろかなと言った感じです。

◎ 角永さんと言えば、小値賀屈指の面積のお米を作付けされています。田んぼの規模はどれくらいあるのですか。

◎ 私個人が3町6反<sup>※</sup>です。あとは依頼されて、田植えて5町ぐらい、稲刈りは1町ぐらいです。

◎ 今年は米不足の影響もあって、農協の買取額も上がったと聞きます。生産者として率直にどう思いますか。

◎ 以前と比べ経費や肥料農薬資材関係が倍ほどになっているのに、米の買取金額や小売店の売値は変わりませんでした。最近の不作と重なり大幅にアップしました。

◎ 小売店は自分たちで価格を上げられますが、私達にはそれができません。今後機械化が進むことを考慮すれば、上げる必要はあると思います。

◎ お米以外にはどんなものを栽培されていますか。

◎ 今はブロッコリーとメロンです。あとは地元スーパーに卸している野菜を母が作っています。

◎ 高齢化の進む小値賀の農業において、角永さんの存在は大変希望を感じます。これから小値賀の農業をどう牽引していきたいですか？

◎ 抱負という訳ではありませんが、耕作放棄地にしないことが農業者の努めですので、自分の農地だけではなく、柳の農地を、小値賀の農地を守りたいです。



ブロッコリーの苗を見る目は慈愛に満ちている

※ 3町6反ってどれくらい？  
1反＝1000㎡、1町＝10反です。  
総合運動公園のグラウンドが約18500㎡なので、3町6反はグラウンドの面積の約2倍、あわび（大）の約90万個分に相当します。

◎ 農地を守ることは、小値賀の景観だったり、昔からある風景を守る活動でもあると思います。

◎ そうですね。とにかく、変えない。変えたら誰も振り向いてくれないです。

◎ そういう意味では、農業は小値賀町にとって、なくてはならない素晴らしいお仕事だと思います。議会や町に対してご要望やご意見はありませんか。

◎ 農業も近代化・機械化が進んでおり、いかに効率よく成果を上げるかだけでなく、年々体力が衰えていく以上、機械に頼らざるを得ないところがあります。

◎ 最近の物価高で、機械も年々値上がり傾向です。農業を続けていく上で機械化は避けられないので、何かしら補助があれば良いと思います。

◎ 最後の質問です。角永さんには2人のお子さんがいらっしゃいます。もし、将来お父さんの仕事を継ぎたいと言ったらどうしますか？

◎ 農業に限らず、子供の夢をサポートするのが親です。

◎ 自分の子どもだけでなく、誰が継いでも良いように、しっかりと整備して農業の魅力を作っていきたいです。

◎ 良いお話をたくさん聞かせていただきありがとうございます！  
(取材・森岡委員)

## 新人議員紹介！

前号から始まった新シリーズ「新人じゃない議員紹介」。読者の皆さんの反応が大変気になるところですが、途中でやめるわけにはいかないので、第2弾ははじめます！

◎ 今回は横山議員です。議員の中では最も長いキャリアを誇ります。そんな横山議員に、本町の未来のために何を考え、成し遂げようとしているのか。その胸中をうかがいます！

◎ 昔からよく知っている方もそうでない方も、ぜひ最後まで読んでみてください！



若かりし頃、面影は…ない。

## 議員番号六番 横山 弘藏議員

な人との出会いから自らの視野が広がったことです。

◎ 逆に一番辛かったエピソードを教えてください。

◎ 様々な情報が入り乱れ、何がベストか悩み苦しんだ平成の大合併です。あの時期が一番辛かったです。

◎ 新人議員が4名と多様な考えは増えましたが、やはり女性の視点が議会には必要だと思いましたがどう考えますか。

◎ 男性ばかりで政治をしても片寄ってしまいます。是非、女性の参加を願っています。

◎ 今後、議員として達成したい目標などありますか。

◎ 小値賀の島々が、これからも自然豊かで町民みんなが幸せに生活できるように、少しでも役に立ちたいです。

◎ ありがとうございます！

◎ 初めて議員に立候補した時のきっかけをお聞かせください。

◎ 中学生の頃、宇久町長を4期務めた叔父がおり、会う度に町づくりの話聞いていました。家の隣には、当時の津田育佑町長がおり、「弘藏くん、犬の遠吠えじゃなく、言いたいことがあるば、議員に出ろ！」と叱咤も頂きました。

◎ 横山議員の幼少の頃は素直でみじよかったですか。

◎ 内気で気持ちを素直に表現出来ない少年でした。どうして議員になれたのか、今でも不思議です。

◎ 議員としてトータル何年目ですか。

◎ 43歳で初当選し、途中町長選挙で見事に落選。議員としては7期目、27年目です。



記入用紙は何でもOK!



## ご意見ありがとうございます！ いただいたご意見の一部を紹介。

## みんなの意見箱

◎診療所に近い駐車場所には、職員は停めないように配慮してほしい。

A議会から診療所に伝達済みです。

◎役場からの補助金等の振込通知書は発行できないか。

A振込口座の通帳に記載されていますのでそちらでご確認ください。

◎子どもとフェリー乗船時、子どもが大声を出すのを良く思わない人がいて、ストレスを感じている。何か理解を促すような船内アナウンスなどはできないか。

A議会から九州商船へ要望します。

設置場所は3か所あります！

①図書館入口 ②ターミナル入口 ③役場入口

## 令和7年定例12月会議 日程のお知らせ

令和7年12月5日～

詳細日程は後日地区回覧でお知らせいたします。

たくさんの皆様の傍聴を  
お待ちしております！

小値賀町議会  
Facebook



小値賀町議会  
YouTube



## 『ギカイの窓』も開いています！

電話 0959-56-3111 役場内議会事務局  
メール gikaisodan@town.ojika.lg.jp

### 編集後記

定例9月会議では、初めて修正動議を提出しました。何分不慣れであったが、ドタバタ劇もありましたが、大変良い経験をさせて頂いたと思います。

休憩返上で資料作成に奔走して下さった、山田事務局長と岩坪書記には心から感謝しています。

言葉を失うような結果でしたが、私自身、理路整然と、感情に流される事なく、質疑と趣旨説明が出来たと自負しております。

私は、本町の『身の丈にあったトイレ』を作るべきで、2310万円もするトイレは要らないと思います。

財政難の小値賀町が作る

『2310万円のトイレ』

私は、町民の皆さんの理解を得られるとは思えません。

皆さんはどう思いますか？

編集委員 森岡正雄